



ART VILLAGE TOON

坂の上の雲ミュージアム (2階ホール)

2018年9月8日(土)

10:30開場

11:00開演

(公演時間は約45分を予定しています)

入場無料

ミュージカル

しんみんさん

作・作詞／忠の仁
作曲／山本 太郎

そう君は一人じゃない
そうさ 君には僕がいる



主催 坂村真民記念館

共催

「坂の上の雲ミュージアム」指定管理者
四電ビジネス株式会社愛媛支店

企画
制作

坊っちゃん劇場

アートヴィレッジとうおん

あらすじ

砥部町民劇団の稽古場で劇団の若手三人衆が「坂村眞民」について調べるように指示された。坂村眞民って誰？どんな人物？どんな詩を書いたの？調べていくうちに、3人それぞれが自分の人生と照らし合わせて浮かび上がるバラバラの坂村眞民像。それぞれに眞民さんの生き方に影響を受けたり、眞民さんの詩に勇気づけられたりする中で、3人が自分らしく力強く一歩を踏み出していく。

【スタッフ】

演出	忠の仁
音楽	山本太郎
振付	渡辺輝世美
美術プラン	辻内達也
照明プラン	金野俊幸
音響プラン	高橋克司
衣裳プラン	新名真裕美
制作	アウトリーチ事業部
稽古ピアニスト	市川千尋
協力	坂村眞民記念館

しんみんさん

ミュージカル

演出 忠の仁

桐朋学園演劇科を卒業後、早稲田小劇場を経て、いずみたくフォーリーズに入団と、色々なジャンルの演劇を渡り歩いて最後にミュージカルの世界に嵌まり込んで、早40年。その間多くのミュージカルの舞台の脚本や演出をやる傍ら、プロドウェイ作品の訳詞を手掛けること1000曲以上。ところが去年、砥部町民ミュージカルの演出を依頼されて愛媛の魅力にすっかりやられてしまい、よせばいいのに東温市に移住を決意。その最初の仕事が今回の「しんみんさん」というわけです。坂村眞民は僕のもっとも好きな詩人であり、その意味でもしっかりとした作品にしなければ。



詩人 坂村眞民

「念ずれば花ひらく」で知られる熊本県出身の詩人。幼い頃父親が急逝し、どん底の生活の中、母を支える。終戦後、愛媛県に移住し、高校の教員として国語を教える。晩年は、砥部町に「たんぼぼ堂」と称する居を構え、毎朝午前零時に起床して夜明けに重信川のほとりで地球に祈りを捧げるのが日課であった。そこから生まれた人生の心理、宇宙の真理を紡ぐ言葉は、弱者に寄り添い、癒しと勇気を与えるもので、老若男女日本中の幅広い人々に愛された。

【キャスト】

(写真中) 村中弘和 〈坊っちゃん劇場〉

東京都出身。東宝、劇団四季他、出演多数。坊っちゃん劇場にも出演。

主な出演作品:「ライオン・キング」「マンマ・ミーア」「42ndストリート」「鶴姫伝説(再演)」「お遍路さんどうぞ」

(写真右) 斉藤かおる 〈坊っちゃん劇場〉

桐朋学園大学演劇科卒業。劇団シェイクスピアシアターに10年在籍後、現在まで様々な舞台、映像に出演。

(写真左) 畠山泉 〈坊っちゃん劇場〉

元劇団わらび座。在籍時、常設劇場や全国公演に出演。退団後は、地元岩手県で地域ならではの舞台づくりを行う。

【舞台スタッフ】音響・照明 新名真裕美 〈坊っちゃん劇場〉



出張公演、各種ワークショップも承ります！

【お問い合わせ】

坊っちゃん劇場アウトリーチ事業部

愛媛県東温市見奈良 1125 レスパシティ/クールスモール内

TEL 089-990-7336 FAX 089-990-7338

Mail outreach@botchan.co.jp